

「超低成本 インターネット・ガジェット設計 —USB・μIP・microSD プロトコルス
タックの活用—」の参考資料；オープンソースの動向

世界のサーバ数

世界のサーバ数は、図 1 に示すように急激に増えてきています。2006 年には、登録サイ
ト数で 1 億台を超える、2007 年 12 月の時点では、155,230,051 台のサイトがインターネットド
メインに登録されています。その約半数の 7 千万台のサイトがインターネットに接続され
稼動しています。

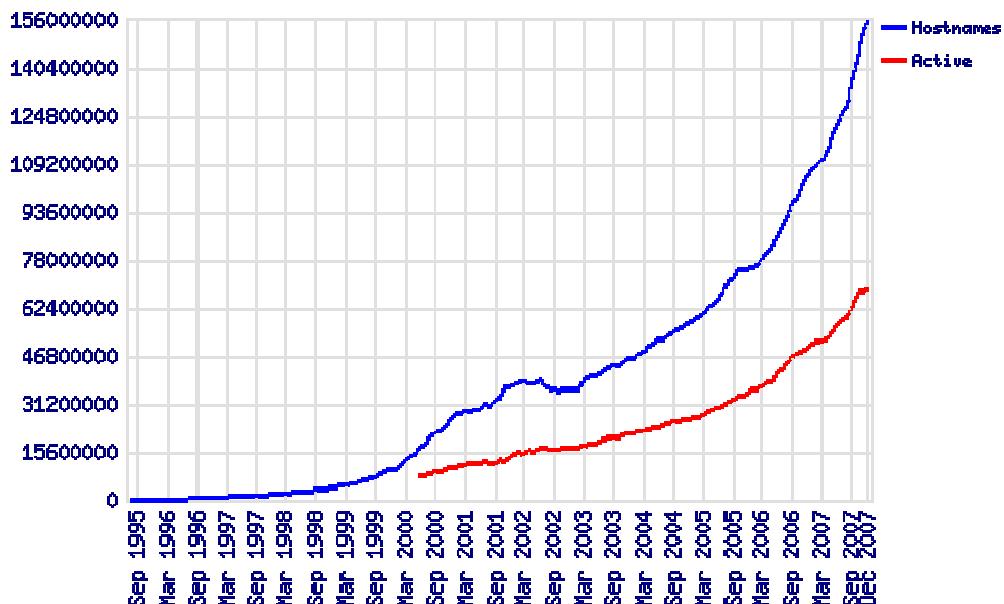
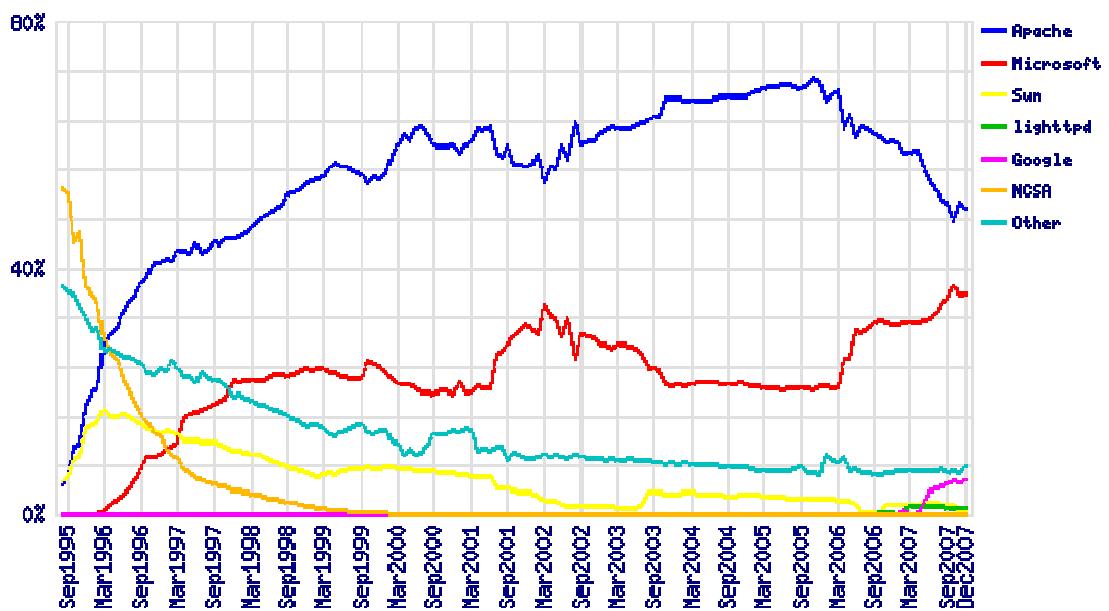


図 1 世界のサーバ数 (netcraft 社提供：
http://news.netcraft.com/archives/web_server_survey.html)

図 2 には、WEB サーバソフトウェアの世界市場占有率動向を示します。2006 年からマイク
ロソフト社が猛烈にシェアを伸ばしてきましたが、2007 年の末から再びオープンソースの
Apache が伸びてきています。最近登場してきた Lighttpd も別のオープンソースサーバです。
図に示すように、オープンソースの Apache が 50%、クローズソースのマイクロソフト社の
IIS が 36% です。



Developer	November 2007		December 2007		Percent Change
	Percent	Percent	Percent	Change	
Apache	76,028,287	50.76%	76,945,640	49.57%	-1.19
Microsoft	53,679,916	35.84%	55,509,223	35.76%	-0.08
Google	7,910,879	5.28%	8,558,256	5.51%	0.23
lighttpd	1,505,122	1.00%	1,521,250	0.98%	-0.02
Sun	619,262	0.41%	588,997	0.38%	-0.03

図2 世界のWebサーバソフトウェア市場占有率

http://news.netcraft.com/archives/web_server_survey.html)

セキュリティの動向

米国政府には、national vulnerability database (<http://nvd.nist.gov/>) とよばれるセキュリティに関するデータベースがあり、そのデータベースを用いてソフトウェア脆弱性やセキュリティ情報を簡単に調べることができます。

著者が調べたマイクロソフト社製品のhigh severity vulnerabilities (重大レベルの脆弱性数) 状況を簡単に図3にまとめてみました。



図3 Windows98 SE, NT4.0, Windows 2000, Windows XP professional, IIS, Internet Explorer, SQL server 7.0 の重大レベルの脆弱性数 (<http://nvd.nist.gov>) (2007年3月調べ)

図3の青色は発売年、黄色は4年目、オレンジ色は7年目を示しており、発売されてから4年目と7年目に重大レベルの脆弱性が急激に増加する傾向があるようです。脆弱性の深刻度レベル (Common Vulnerability Scoring System : CVSS) は10段階に分かれ、それらは、3つに区分されます。つまり、CVSS (7 - 10) が重大レベル、CVSS (4 - 6) 中間レベル、CVSS (0 - 3) が低レベルです。

マイクロソフト社のIISサーバとオープンソースのApacheサーバソフトウェアの重大レベルの脆弱性数の比較を図4に示します。

Key words	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	total
IIS	1	1	0	13	6	9	16	5	3	3	3	6	66
apache													
http													
server	2	2	1	2	1	1	4	3	7	1	1	9	34

図4 IISとAPACHEサーバの重大レベル脆弱性数の比較

(2007年12月16日調べ)

図からはつきりいえることは、世界中で広く使われているオープンソース・ソフトウェアのApacheは、重大レベルの脆弱性が、商用のIISに比べても比較的少ないことがわかります。

(完)